

3年度の財政状況(4年3月31日現在)

【一般会計・特別会計】

区分	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	203億6,955万円	176億 999万円	161億1,011万円
国民健康保険事業特別会計	38億1,782万円	37億7,622万円	35億1,062万円
介護保険事業特別会計	50億 107万円	49億 349万円	44億3,841万円
後期高齢者医療事業特別会計	5億7,994万円	5億6,277万円	4億9,548万円

【企業会計】(下水道事業)

区分	予算現額	執行済額
収益的収入	5億9,780万円	5億8,570万円
収益的支出	5億8,675万円	5億7,547万円
資本的収入	4億9,604万円	3億7,998万円
資本的支出	6億5,290万円	5億3,649万円

【市債の現在高】

区分	現在高
一般会計債	172億9,421万円
公営企業債	35億7,075万円
合計	208億6,496万円

【一時借入金の現在高】

区分	現在高
一般会計	12億円
企業会計(下水道事業)	0円
合計	12億円

【一般会計の歳入・歳出】

収入済額は176億999万円で、予算現額に対して86.5%の収入率となっています。市債や国・県補助金などは5月31日までの出納整理期間に明らかになります。

支出済額は161億1,011万円で、79.1%の執行率となっています。未執行分は歳入と同様に5月31日までに執行されますが、一部の事業は4年度へ繰り越して実施することになります。

【財産の状況】

区分	現在高
現金預金	118億4,448万円
土地(山林を除く)	374万7,863㎡
山林	973万2,104㎡
建物	19万4,170㎡

「地震に対する備えをしましょう」

地震時に、倒れた家具などで被害にあわないために、家具類の転倒防止対策を実施しましょう。

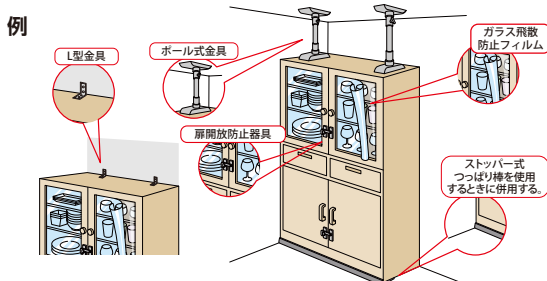
家具類転倒防止対策の進め方

1 安全空間の確保(家具の配置などを工夫する)

- 避難の妨げとなる場所(出入口付近、廊下、階段など)には家具を置かない
- 寝室や幼児・高齢者がいる部屋にはなるべく家具を置かない
- 地震時に出火を防ぐため、火気の周辺に家具を置かない
- 家具の上にガラス製品など落下すると危険なものは置かない

2 家具を固定する方法は?

最も効果の高い家具転倒防止対策器具はねじで固定するもの(L型金具など)です。賃貸住宅や大切な家具に傷をつけたくない人には、穴を開けなくて済む器具を組み合わせる方法をおすすめします。



家具類転倒防止対策促進事業

家庭における防災対策を推進するため、家具類転倒防止器具の購入費を補助します。

対象者 次の要件を全て満たす人

- ・市内に住所を有し、自らが居住する市内の住宅に器具を設置する
- ・申請者および同一世帯員が市税などを滞納していない

対象経費 器具の購入費

補助額 対象経費の2分の1(上限5千円)

申込期限 予算の範囲内(先着順)

その他 香川県家具類固定サポート制度との併用が可能です。家具類の固定方法のアドバイスから固定作業の支援までを行う制度で現在、利用者を募集しています。

詳しくは、県危機管理課 TEL087-832-3242までお問合せください。

問合・申込先 市危機管理課 TEL 26-1235